

新規 GPCR 抗体パイプラインの研究開発の加速を目的とした シリーズ C 第 3 者割当増資完了のお知らせ

株式会社エヌビー健康研究所（本社：札幌市北区、代表取締役：高山 喜好 以下、「当社」）は、第3者割当増資による合計746万米ドルのシリーズC資金調達を完了しましたのでお知らせ致します。当社は、アンメットメディカルニーズが高い重症疾患に対する革新的な医薬品の探索、開発、商業化を目指すバイオテクノロジー企業です。今回の資金調達により、抗GPCR抗体パイプラインの更なる前臨床・臨床開発を加速させ、独自のGタンパク質共役受容体（以下、「GPCR」）に対する抗体創薬プラットフォーム（MoGRAA[®]ディスカバリーエンジン）を活用した新たなGPCR抗体シーズ探索を拡大させます。

今回の追加資金調達では、新たに株式会社ヘルスケア・イノベーション（代表取締役社長：宮田 満 以下、「HCI」）が運営管理するヘルスケア・イノベーション投資事業有限責任組合が出資、シリーズC資金調達累計は746万米ドルとなりました。

当社の創業者兼代表取締役である高山喜好は、「製薬業界、バイオテクノロジー企業への投資に熟知したHCIのようなベンチャーキャピタル様からご信頼いただき投資いただいたことに大変感謝しております。今回の資金調達により、自己免疫疾患、線維症、がん、重症ウイルス感染症の治療を目的とした複数の前臨床開発抗体の開発をさらに進めることができ、新たなGPCR抗体シーズ探索を継続的に拡大させることも可能になりました。」と述べています。

HCIの代表取締役社長 宮田満氏は、「医薬品の2割もの創薬標的であるGPCRに対する独自抗体開発技術を持つエヌビー健康研究所には以前から関心を持っていました。数年前に事業モデルを変換、自社パイプラインの開発に着手した他、国内外の製薬企業に積極的にライセンス活動を開始しました。既にいくつかの提携も実現するようになりました。また開発途上にある抗GPCR抗体のパイプラインも魅力的です。今後は我が国のバイオ産業を牽引するベンチャー企業として大きく飛躍するために、当社は多様な支援を惜しまないと考えています。」と述べています。

株式会社ヘルスケア・イノベーションについて

株式会社ヘルスケア・イノベーションは、急激に発展し続けているヘルスケア産業の担い手となる「未来を切り拓くヘルスケア関連ベンチャー企業」を見出し、投資・育成することを目的に2017年2月、日本のバイオ業界のオピニオン・リーダーである大滝 義博氏と宮田 満氏により設立されました。同社の詳細については <https://hcinnovation.jp/> をご覧ください。

株式会社エヌビー健康研究について

株式会社エヌビー健康研究所（NBHL）は、呼吸器疾患、慢性炎症、COVID-19 やインフルエンザなどの呼吸器感染症に対する革新的な医薬品の創出、開発、商業化に特化した2006年創業のバイオテクノロジー企業です。NBHLは、GPCRを標的とする機能的抗体の生成に関する専門知識を

持ち、人々の健康に役立つ GPCR を標的とした創薬の新しい分野を開拓しています。同社の詳細については <https://nbhl.co.jp/jp/> をご覧ください。

G タンパク質共役型受容体 (GPCR) とは

生体内にある約 400 種類の GPCR は細胞膜上に存在するタンパク質グループです。細胞膜を 7 回縫うような構造をしており、さまざまな外的刺激を受け取り細胞内に伝達する受容体として働きます。近年 GPCR は様々な疾患との関連性が次々に示されています。GPCR を標的とする全新薬の世界売上高は 2020 年で 7 兆 9,536 億円 (全体の 12.7%)、売上品目は 113 品目 (全体の 19.0%) にのぼり、医薬品の標的として非常に重要とされています。